

項目2 診断群分類別患者数

内科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	61	1.21	2.64	0.00 %	65.82
2	060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2-なし 定義副傷病-なし	54	8.30	8.94	0.00 %	84.78
3	130060xx97x00x	骨髄異形成症候群 手術あり 手術・処置等2-なし 定義副傷病-なし	34	1.41	15.42	0.00 %	73.32
4	060050xx99000x	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-なし 定義副傷病-なし	30	3.67	8.28	0.00 %	61.40
5	060050xx030xxx	肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）等 手術・処置等1-なし	23	7.61	7.56	0.00 %	72.57

【解説】

内科で多い症例は小腸大腸の疾患、胆管（肝内外）結石、胆管炎、骨髄異形成症候群、肝・肝内胆管の悪性腫瘍です。肝・肝内胆管の悪性腫瘍についての症例は、専門医の着任により症例数が増えています。手術の全体数の増加しています。

循環器内科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	050050xx0203xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1-なし、1,2あり 手術・処置等2-3あり	23	3.96	9.95	0.00 %	68.87
2	050050xx9913xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1-1あり 手術・処置等2-3あり	15	3.53	6.33	0.00 %	72.13
3	050170xx03000x	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの（観血的なもの）等 手術・処置等1-なし、1あり 手術・処置等2-なし 定義副傷病-なし	12	4.17	5.18	0.00 %	73.83
4	050210xx97000x	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等1-なし、1,3あり 手術・処置等2-なし 定義副傷病-なし	12	7.25	9.89	0.00 %	81.17
5	050130xx9902xx	心不全 手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-2あり	-	-	24.17	-	-
5	050070xx01x10x	頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術 手術・処置等2-1あり 定義副傷病-なし	-	-	6.69	-	-

【解説】

循環器内科で多い症例は、狭心症、慢性虚血性心疾患、閉塞性動脈疾患。徐脈性不整脈です。当院では、カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈ステント留置術、経皮的末梢動脈形成術、経皮的カテーテル心筋焼灼術など）に力を入れており、関連症例の患者数が上位を占めています。また、クリニカルパスを積極的に活用することにより、全国平均より在院日数が短縮され、患者さんのQOL（生活の質・生命の質）の向上、廃用症候群の予防等にも貢献できていると考えます。心不全、頻脈性不整脈 経皮的カテーテル心筋焼灼術の患者数は10未満のため数値を掲載していません。

項目2 診断群分類別患者数

外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	060035xx99x6xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-6あり	80	3.06	4.44	0.00 %	71.95
2	060160x001xxxx	鼠径ヘルニア（15歳以上） ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	26	7.04	4.59	0.00 %	71.08
3	060040xx99x6xx	直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-6あり	19	3.37	4.38	0.00 %	57.26
4	110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-なし	16	17.31	11.77	0.00 %	78.06
5	060035xx99x4xx	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2-4あり	16	1.75	4.69	0.00 %	68.81

【解説】

外科で多い症例は、結腸の悪性腫瘍、鼠径ヘルニア、直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍、慢性腎炎症候群の疾患です。地域の開業医の先生方から患者さんを紹介されることも多く、保存的加療にて改善されない場合は手術を実施しています。結腸、乳房の悪性腫瘍は化学療法をしており、複数回入院してもらうため、患者数（延べ数）が多くなっています。また、当院では透析患者さんの治療も外科が担当しています。

整形外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	160800xx01xxxx	股関節・大腿近位の骨折 手術あり	75	55.83	26.42	0.00 %	85.08
2	160690xx99xxxx	胸椎・腰椎以下骨折損傷（胸・腰椎損傷を含む）	29	24.48	20.09	0.00 %	76.55
3	160760xx97xx0x	前腕の骨折 手術あり 定義副傷病-なし	27	5.70	4.86	0.00 %	61.48
4	160700xx97xx0x	鎖骨・肩甲骨の骨折 手術あり 定義副傷病-なし	13	11.00	5.37	0.00 %	46.69
5	160980xx99x0xx	骨盤損傷 手術なし 手術・処置等2-なし	10	23.90	19.98	0.00 %	85.80

【解説】

整形外科は、骨折治療が中心となっており、股関節・大腿近位骨折、胸椎・腰椎以下骨折、前腕の骨折の症例が上位を占めています。股関節・大腿近位骨折については、急性期治療後、家庭や社会復帰を目標に集中的なりハビリを提供する目的で、回復期リハビリテーション病棟へ転棟します。そのため、平均在院日数が全国平均に比べ延長しています。

項目2 診断群分類別患者数

脳神経外科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	010060x2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満）手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-4あり 定義副傷病-なし	-	-	15.97	-	-
2	160100xx99x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2-なし 定義副傷病- なし	-	-	8.54	-	-
3	160100xx97x00x	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2-なし 定義 副傷病-なし	-	-	10.14	-	-
4	010060x0990201	脳梗塞（脳卒中発症4日目以降又は無症候性、かつ、JCS10未 満）手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2-2あり 定	-	-	16.18	-	-
5	010069xx99000x	脳卒中の続発症 手術なし 手術・処置等1-なし 手術・処置等2 -なし 定義副傷病-なし	-	-	10.11	-	-

【解説】

脳神経外科では、脳梗塞、頭蓋・頭蓋内損傷、脳卒中の症例が多くなっています。

非外傷性頭蓋内血腫については、急性期治療後、家庭や社会復帰を目標に集中的なりハビリを提供する目的で、回復期リハビリテー
ション病棟へ転棟します。

令和4年度は全ての症例で患者数が10未満のため数値を掲載していません。

眼科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	020110xx97xxx0	白内障、水晶体の疾患 手術あり（片眼）	146	1.06	2.63	0.00 %	75.85
2	020110xx97xxx1	白内障、水晶体の疾患 手術あり（両眼）	115	4.18	4.67	0.00%	77.54
3	020230xx97x0xx	眼瞼下垂 手術あり 手術・処置等2-なし	13	2.00	2.90	0.00%	78.31
4	020250xx97xxxx	結膜の障害 手術あり	12	1.17	3.09	0.00%	73.75
5	020320xx97xxxx	眼瞼、涙器、眼窩の疾患 手術あり	-	-	3.11	-	-

【解説】

眼科では、主に手術目的に入院しています。最も多い症例数は白内障（片眼）の手術、白内障（両眼）の手術、続いて眼瞼下垂の手
術、結膜の障害です。

クリニカルパスに沿って実施され、在院日数は全国平均より短縮されています。

地域の開業医の先生方から多数の患者様をご紹介いただいております。

眼瞼、涙器、眼窩の疾患、結膜の障害の疾患の患者数は10未満のため数値を掲載していません。

項目2 診断群分類別患者数

泌尿器科

No.	DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数 (自院)	平均在院日数 (全国)	転院率	平均年齢
1	110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1-あり	19	1.00	2.45	0.00 %	73.58
2	110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等 2-2 あり 定義副傷病-なし	-	-	6.66	-	-
3	11012xxx03xxxx	上部尿路疾患 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術（一連につき）	-	-	2.49	-	-
4	110080xx9903xx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 1-なし 手術・処置等 2-3 あり	-	-	12.17	-	-
5	110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	-	-	13.61	-	-
5	110310xx01xxxx	腎臓又は尿路の感染症 経尿道的尿管ステント留置術	-	-	13.78	-	-

【解説】

泌尿器科では、前立腺の悪性腫瘍の症例が全体の約半数を占めています。

悪性腫瘍に対する症例が多くなっており、前立腺の悪性腫瘍は、前立腺の針生検を行った症例です。

患者数が10未満の症例は、数値を掲載していません。